

感染症情報 7月7日～13日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	927例(堺市	45例)
②伝染性紅斑	469例(堺市	38例)
③ヘルパンギーナ	356例(堺市	20例)
④溶連菌感染症	266例(堺市	29例)
⑤手足口病	234例(堺市	18例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 54例(堺市 9例)

報告数による順位。前週比1.7%減の2,555件。感染性胃腸炎は府下で前週から7%減、堺市で前週39例→今回45例。伝染性紅斑が府下で8%減、堺市で前週43例→今回38例。ヘルパンギーナが府下で38%増、堺市で前週7例→今回20例であった。溶連菌感染症が府下で4%減、堺市で前週30例→今回29例。手足口病が府下で7%増、堺市で前週37例→今回18例。

インフルエンザが府下で前週73例→今回54例(26%減)。堺市で前週・今回とも9例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で81例→88例は9%増、堺市は0例→2例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は2,033例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 589例(堺市 41例)
大阪府定点 2.02 堺市定点 1.64

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で6%増、定点当たり1.91→2.02。堺市は53例→41例、定点当たり2.12→1.64だった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11,051例(堺市 1,021例)
大阪府定点 37.98 堺市定点 40.84

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より1%増、定点当たり37.41→37.98、堺市でも前回より1%増、定点当たり40.40→40.84であった。

風疹の報告はなかったが、麻疹が北河内地区で1例あった。